



# 変わりゆく大熊町

東日本大震災からまもなく15年になります。全町避難から大川原、中屋敷地区の避難指示解除を経て現在では下野上地区を中心に生活できる区域が広がってきています。

そこで今回は、ふるさとに帰り新たに歩みだした方々を紹介します。



## 田沢 敦 美香夫妻 (下野上字大野)

震災後、避難先の会津で床屋を再開しました。ある時、町民の方より大熊でやらないの声を掛けられ、子どもたちがいわき市に就職するタイミングもあり、二人で相談して帰ることにしました。

実際に大熊に戻り、開店してみると地元の懐かしい顔を見ることができて安心しました。お客さんは郡内をはじめ、南相馬市やいわき市、遠くは秋田から来ていただいています。

今後は新たな取り組みとして出張散髪にて、ご高齢の方や外出が困難な方のお宅を訪れていきたいと思います。また、福祉施設なども訪問し社会貢献していきたいとも考えています。

町には居住人口が増え、賑わいが戻るような町づくりを期待しています。

## 野口 美佐子さん (下野上字清水)

震災後、仙台市に移り情報誌infoを発行し続けました。町に事業者向けの貸事務所「CREVAおおくま」が出来ることを知り、仕事の拠点を大熊町に戻すことを決意しました。そしてタイミングよく住宅も購入することができました。

都市部から故郷に帰り、生活に不便なところもありますが、不便さより心の安堵が勝っています。人との新たな出会いや会社を立ち上げたときにお付き合いのあった方と再会したり、つながりが広がってます。

現在、かつて賑わった商店など撮りためたデータを地域貢献のために役立てられないかと模索しています。さらに両親が築いた美好野菜子店を父が元気なうちに復活させたいですね。まちのにぎわい創出の一助になればと思っています。





### 土屋 繁男 カオル夫妻 (下野上字原)

避難先の会津では、すぐに町内会に迎えていただき、秋祭り、新年会、花見など多くの行事に参加して避難者であることを感じることなく生活することができました。その後いわき市に移り、竹林再生プロジェクトに参加して、まちづくりの会やゴルフコンペ、町民で作る友の会で多くの人々にめぐり逢いました。

今後は震災前の行政区の行事に参加したり、近所の方と気軽にたわいのない話をしながらお茶をしたり、山菜採りをして元の町の自然を感じながら夫婦で生活を楽しんでいきたいです。

震災から15年となり帰還者の多くが高齢者であるためインフラの整備や施設の充実が必要ではないか。またより多くの町民が帰還できる施策が必要と思われます。

### 阿部 智英子さん (下野上字大野)

町内は除染や解体で更地になってしまいとても寂しい状況になってしまったので、自分の庭に花を植えたいと思ったのが戻るきっかけです。その後、町で住宅の修繕費用の補助金がでることを知り、震災前に建てた家をリフォームして町内での生活が始まりました。

震災前とは町内の様子が変わりどんな生活になるか不安がありました。ですが、近所には震災前に住んでいた方も戻って生活をしていることや、防犯パトロールも行われて安心して生活をしています。

これからは庭にたくさんの花を植えたり、物作りをしながら穏やかな気候の中で自分のペースで生活をしていきたいと思います。



### 後藤 祐司 仁美夫妻 (下野上字大野)

学び舎ゆめの森が大熊町へ移転するタイミングで帰還を決めましたが、当初は仕事や住居などに不安がありました。

しかし、子どもたちのことをよく理解している先生方が変わってしまうことや幼稚園入園時から一緒だった友達と引き離したくない思いから決断しました。

帰還し特に感じたことは、買い物に不便を感じることで。町内にまだスーパーがなく、平日は仕事のため週末にまとめて買い出しをする生活を送っています。

今後スーパーや飲食店が整備され、平日も含め普通の生活が送れるようになっていくことを願い町の復興を期待しています。



# 12月定例議会議案審議

●会期：12月10日～12月12日

今回の議案件数は計26件

条例制定、改正	15件
工事請負	1件
備品購入	1件
財産取得	2件
一般会計補正予算	1件
特別会計補正予算	6件

全議案可決

## Pickup1 電線盗難防止工事

1562万円

旧大熊中学校に設置されている太陽光発電用ケーブルの盗難防止措置としてケーブル敷設部をコンクリートで固める工事です。

## Pickup2 学校給食施設建設工事

15億700万円

現在、学び舎ゆめの森在籍の園児、児童生徒が増加傾向にあります。

今後も帰還や移住に伴い園児、児童生徒の大幅な増加が見込まれることから、安定的に給食を提供すべく学校給食施設を建設するものです。

# 奨学金に門戸広がる 応募要件大幅に緩和

### 奨学金給付条例一部改正

#### ★給付対象者拡充★

- ・ 現行の**大学**のみから法律で定められた**\*大学等**へ変更  
※大学、高等専門学校、専修学校

#### ★応募資格変更★

- ・ 大熊町の住所を有する期間  
**5年⇒1年**へ変更

#### ★給付額変更★

- ・ 学部と所得に応じて給付額が変わります



### 奨学金貸与条例一部改正

#### ★対象学校追加★

- ・ 専修学校（高等課程）
- ・ 国公立各種学校  
いずれも修業年限2年以上

#### ★応募資格変更★

- ・ 大熊町の住所を有する期間  
**5年⇒1年**へ変更

#### ★貸与額増額★

- ・ 高校、高専の月額変更  
**30,000円⇒35,000円**

#### ★返還免除要件追加★

- ・ 重度障害の要件追加
- ・ 一部免除要件追加

第4回定例会にて条例改正の審議を行いました。  
主な内容をお知らせします。

# 待ち遠しい できたての給食

第4回定例会にて令和7年度補正予算の審査を行いました。主な質疑を報告します。

## 学校給食施設

**問** 学校給食は最大で何食作ることができるのか。

**答** 最大で500食を作ることが可能である。

**問** 学び舎ゆめの森への配食はいつごろになる予定か。

**答** 配食は令和9年4月より開始予定である。



おいしい給食待ってね

## 電線盗難防止

**問** メガソーラーエリア内の電線盗難防止対策としてコンクリートで埋設することだが、異常の有無の確認はできるのか。

また異常があった際はどのようにするのか。

**答** 埋設された状態でも異常が検知できる仕様となっている。交換が必要となった場合は異常があった箇所のみ切断し修繕可能である。

## 移転住宅補助金

**問** 引っ越しに掛かる補助金を増額補正しているが、今後何件見込んでいるのか。

**答** 県内外からの引っ越しで補助金額は異なるが、想定より対象者が多く、今後20件程度見込んでいる。

## 森林再生事業

**問** どのような事業なのか。

また12月に増額補正しているが今年度中に完了するのか。

**答** 森林再生のための間伐作業である。対象面積は約10haであり、今年度中に完了予定である。

**問** 本事業は間伐のみで植林はしないのか。

**答** 植林は実施しない。対象エリアは帰還困難区域でもあり植林後の下草刈り等の管理ができないためである。

## 水路維持補修

**問** この時期に増額補正し工事を実施する理由はなにか。また対象地区はどこか。

**答** 次年度より農業再開の連絡があり水利確保のための工事を

実施する。

また対象地区は野上1区である。

## 貸与型奨学金

**問** 重複受給が可能となったが国や県の貸与型奨学金制度と併せて受給もできるということか。

**答** 国や県、社団法人などからの貸与型奨学金制度も併せて受給可能である。しかし多重債務に陥るリスクも考えられることから、制度利用者には綿密に返済計画を立てるよう助言も行っていく。

## 給付型奨学金

**問** 給付対象者の面接や小論文審査は今後も実施していくのか。

**答** 従前通り今後も実施していく。

# 町政を問う 一般質問

定例会 2 日目は復興への課題をとらえて一般質問が行われました。

なお質問動画はQRコードからご覧になれます。



一般質問動画  
視聴はこちら

心の  
相談窓口

## 問 窓口を広く周知すべき

## 答 情報発信と周知の充実を図っていく



こわた  
木幡ますみ 議員

**木幡** 長期化している避難生活により心に傷や不安を抱えて生活をしている町民が多い。町では保健師を中心にその様な方の相談を受けていると聞いているが、どこに相談すればいいのか分からないという方も多い。

心のケアを必要とする方々が安心して相談できる方法や窓口を広く周知すべき。

**町長** 避難生活が長期化する中で心のケアについては、町としても重要な課題と認識している。

相談窓口については、多くの町民が安心して相談できるよう町広報誌やホームページ、SNSを活用し情報発信と周知の充実を図っていく。

## 総務文教常任委員会

11月26日に委員会を開催し、所管する条例の調査と学び舎ゆめの森ランチルームの現状を確認しました。

所管する条例一覧を確認し、その内容を協議していきます。

子ども議会の一般質問で取り上げられたランチルームについて、昼食時間帯に合わせ視察しました。

学校の説明では児童生徒が増加した場合、教室も利用可能とのことでした。



みんなと一緒にいいねえ

## 産業厚生常任委員会

11月10日に委員会を開催し、大熊町認知症高齢者グループおおくまもみの木苑の現状を視察しました。慢性的な人手不足であることが確認されました。

委員からは今後適切な施設運営を続けるため、早急な人員確保や職員の労働環境の改善が必要であるとの意見が出ました。



現場の声に耳をかたむけて



## 二十歳の成人式

1月10日linkる大熊にて「令和8年大熊町二十歳の成人式」が行われ、今年は10名の新成人が参加しました。

新成人は「震災当時5歳だったのであまり記憶はありませんが、故郷に帰ってくるとやっぱり懐かしい気持ちになります。これからは、自分にできる範囲で町に貢献できたらと思います」と抱負を語っていました。



## 里がえり餅つき大会

1月10日大熊町役場前で里がえり餅つき大会2026が行われ、多くの人が餅つきを楽しみました。



## 会津会

11月7日会津会の皆さんと懇談しました。議会からは議会だよりのリニューアルの件を報告しました。

その後、会の皆さんから町政への要望や改善点などの意見をいただきました。

具体例として、次年度計画されている町民号において、大熊集合出発だけでなく会津やいわきからの出発など、避難先に配慮してほしいなどの声がありました。

その他たくさんの意見をいただきました。今後、町と相談し貴重な意見を活かしていければと思います。



# 安心して楽しい生活を 大野南コミュニティ会

「大野南コミュニティ会」は2025年4月に発足したコミュニティ団体で、現在40名弱の方が参加しています。

2か月に1回程度のペースで会員以外にも参加可能な交流イベントを企画し、わいわい楽しく活動しています。

これまでにお花見会やクリスマス会など季節に合わせたイベントを開催し、一緒にご飯やおやつを囲みながら交流を深めてきました。また役場や消防の方をお招きし、災害時の対応について学ぶ講習会なども実施しています。

帰還して町に戻られた方も、新たに移住してこられた方も、大野南地区周辺に暮らすみなさんがお互いに助け合い、安心して楽しく生活できるよう、今後もコミュニティの輪をさらに広げていきたいと考えています。

活動予定については「広報おおくま」でも随時ご案内いたします。交流イベントはどなたでもご参加いただけますので、ぜひお気軽にお越しください。

大野南コミュニティ会 事務局 阿部翔太郎



芋煮を作り美味しくいただきました

**議会を傍聴しませんか** 3月定例会は3日からの予定です

## 議員と懇談しませんか

皆さんのコミュニティ活動にお伺いし、懇談させていただきます。ご希望があれば議会事務局までお問い合わせください。

議会事務局 ☎0240-23-7840

### 編集後記

議会だより編集作業で心がけていることを紹介します。定例議会は年4回開催され、本会議で提案された議案の説明が各課担当者より行われます。その説明について各議員が疑問点を質疑し、内容を記録して記事にします。

私が受け持つページは長文ではなく意味のわかる短文での作成を心がけています。

また長文は読まれないとのデータがあることから、一文の長さを40から60文字で作成しています。

これからも短文を基本に素早く読めて内容が把握できる広報誌作成に携わっていきます。

廣嶋 公治

### 広報公聴常任委員会

委員長 渡辺 健二  
副委員長 島原 一郎  
委員 石部 友彦  
委員 武井 和弘  
委員 阿部 正則  
委員 廣嶋 公治

発行責任者

仲野 剛